

**横浜 DeNA ベイスターズ選手寮で提供される****『青星寮カレー』のレシピをアレンジし、****横浜市内の学校給食実施校の給食として提供！！**

横浜市は子どもの体力向上や健全育成に関わる取組の1つとして、横浜 DeNA ベイスターズ若手選手寮である青星寮で選手が実際に食べている『青星寮カレー』のレシピをご提供いただき、学校給食用にアレンジしたカレーを横浜市内学校給食実施校の給食として約20万人に提供いたします。

子ども達が食の重要性と栄養バランスの大切さを学びます。併せて、スポーツ選手の身体づくりやスポーツの楽しさなどを知る機会となります。

なお、青星寮カレーの説明、食育に関する内容などが印刷されたお知らせを配布します。

※ 本取組は、横浜 DeNA ベイスターズと締結したスポーツ振興、地域経済活性化等に向けた包括連携協定「I☆YOKOHAMA 協定」の一環として実施します。

### ■横浜市内学校給食実施校の給食における青星寮カレー提供 実施概要

**【実施日】**平成29年5月15日（月）・16日（火）・22日（月）・25日（木）

※ 横浜市内市立小学校及び義務教育学校前期課程を4つのエリアに分けて、実施いたします。

実施日	実施エリア
5月15日	鶴見区、神奈川区、港北区、青葉区、都筑区などの全部または一部 全78校
5月16日	西区、中区、南区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区などの全部または一部 全88校
5月22日	保土ヶ谷区、旭区、緑区、青葉区、都筑区などの全部または一部 全79校
5月25日	中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区などの全部または一部 全96校

※ 特別支援学校は別途実施日を決めて提供いたします。実施日については教育委員会事務局健康教育課にお問い合わせください。

**【内容】**横浜市内の全ての学校給食実施校において、学校給食用にアレンジした『ベイスターズ青星寮カレー』を通じて、食の大切さを伝えていきます。

お問合せ先	
教育委員会事務局健康教育課担当課長	大野 豊 Tel 045-671-3687

※ 本件は、(株)横浜DeNAベイスターズと同時発表しています。詳細は別紙参照。



〒231-0015

横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビル7階

株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 広報部

TEL:045-681-0879/FAX:045-661-2500

E-Mail:media@baystars.co.jp

## 選手寮で提供される『青星寮カレー』を 横浜市内の小学校給食として提供開始！

横浜市との包括連携協定「I☆YOKOHAMA 協定」の一環として実施

横浜 DeNA ベイスターズは食を通じた健康づくりを目的として、若手選手寮である青星寮で選手が実際に食べている『青星寮カレー』を、横浜市内学校給食実施校のメニューとして実施するためにレシピを提供。このレシピを学校給食用にアレンジして、約 20 万人分の給食献立として提供いたします。なお、本取り組みは横浜市と締結したスポーツ振興、地域経済活性化等に向けた包括連携協定「I☆YOKOHAMA 協定」の一環として実施いたします。

『青星寮カレー』は若手選手が生活する青星寮で長年提供されてきた名物料理です。寮で暮らす選手たちが、いつでも食べられるよう飽きのこないシンプルな味に仕上げ、数々の名選手を育ててきました。2016 年シーズンからは横浜スタジアムでも販売を開始し、選手が食べているものと同じ味を楽しめると、ファンの皆様からご好評をいただいています。

このたび、横浜市の学校給食として『ベイスターズ青星寮カレー』の名で学校給食実施校、約 20 万人の子どもたちに味わっていただくことで、横浜 DeNA ベイスターズをより身近に感じていただくと共に、ベイスターズ選手のような強い身体をつくるための食の大切さを伝えていきます。

### ■横浜市内の学校給食実施校における青星寮カレー提供 実施概要

#### 【実施日・実施エリア】

5月15日（月）：鶴見区、神奈川区、港北区、青葉区、都筑区などの全部または一部 全 78 校

5月16日（火）：西区、中区、南区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区などの全部または一部 全 88 校

5月22日（月）：保土ヶ谷区、旭区、緑区、青葉区、都筑区などの全部または一部 全 79 校

5月25日（木）：中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区などの全部または一部 全 96 校

※横浜市内市立小学校及び義務教育学校前期課程を4つのエリアに分けて、実施いたします

※特別支援学校は別途実施日を決めて行います

【内 容】：横浜市内の全ての学校給食実施校において、学校給食用にアレンジした『ベイスターズ青星寮カレー』を通じて、食の大切さを伝えていきます。



青星寮カレー イメージ

## ※参考資料：3月10日配信プレスリリースより

### DeNA・横浜 DeNA ベイスターズ・横浜スタジアムが 横浜市とスポーツ振興、地域経済活性化等に向けた包括連携協定を締結 －観戦型、参加型スポーツの振興によるまちづくり事業等における連携を開始－ －「DeNA ランニングクラブ」は2017年度より「横浜 DeNA ランニングクラブ」として活動を開始－

株式会社ディー・エヌ・エー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：守安 功、以下 DeNA）、株式会社横浜 DeNA ベイスターズ（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：岡村 信悟）、株式会社横浜スタジアム（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：岡村 信悟）の3社は、2017年3月10日（金）に横浜市（市長：林 文子）と、スポーツ振興と地域経済活性化等に向けた包括連携協定を締結しました。

これまで横浜公園、横浜スタジアムを起点に進めていた「コミュニティボールパーク」化構想を街レベルに展開する「横浜スポーツタウン構想」を2017年1月に発表しました。本構想に基づき、DeNAの長距離陸上チームおよび小・中学生を対象とした育成組織（アカデミー）を含む「DeNA ランニングクラブ」が、事業所を THE BAYS\*（旧関東財務局横浜財務事務所）に移し、2017年度より「横浜 DeNA ランニングクラブ」と名称を変更することを決定しました。これにより、これまでの横浜スタジアムを舞台とした、横浜 DeNA ベイスターズによる試合興行（観戦型スポーツ）による街の盛り上がりや経済活性化に加え、長距離陸上チームが加わることでランニングやウォーキングなどを始めとする市民参加型スポーツ振興による新たな人の流れの創出、市民の健康に関する活動やイベント開催、野球と陸上の両プロスポーツチームによる子どもたちの体力向上に向けた取り組みなど各種施策を横浜市とともに実施します。

また、「横浜 DeNA ランニングクラブ」への名称変更を広く周知するため、横浜 DeNA ベイスターズのユニフォームデザインをモチーフとした「ホームユニフォーム」を新しく設定し、チームロゴも刷新します。ホームユニフォームはトップチーム（プロ契約選手）が出場する駅伝競技大会および神奈川県下の大会への出場時に着用する予定です。

なお、本協定はスポーツに限らず、DeNA グループの知見や技術を活用した地域経済活性化も対象としており、幅広い視点での市民サービス向上や新しい産業の創出に中長期的に取り組んでいきます。

\*THE BAYS・・・横浜 DeNA ベイスターズが「スポーツ×クリエイティブ」をテーマに活用する創造都市・横浜の新たな創造産業集積の中核施設です

#### ■ 本協定の目指すもの

本協定は、横浜がより魅力的な街になるために、その一端を担う活動として2014年から横浜を愛するすべての人と横浜 DeNA ベイスターズおよび横浜スタジアムが共同で推進してきた、「I☆(LOVE)YOKOHAMA」プロジェクトにちなみ、愛称を「I☆YOKOHAMA 協定」とします。

- － DeNA の手がけるスポーツ事業の資産を活用した観戦型スポーツ興行および参加型スポーツ振興を軸として、街づくり事業へ参画し、新たな人の流れの創出やそれに伴う地域経済活性化を目指します
- － スポーツに限らない、DeNA グループの知見や技術を活用した地域経済活性化等、新産業の創出、市民サービス向上、地域や行政の課題の解決を目指します

## ■主な取り組み例

### ① 参加型スポーツの振興に関すること

- ア 市内各区への健康づくりのため、瀬古総監督監修のランニング・ウォーキングガイドの制作に取り組みます。
- イ 子どもから大人、高齢者まで、幅広い世代が参加できるスポーツイベントを定期的を開催していきます。  
(平成 29 年 1 月に共催でハマスタ駅伝を初開催)
- ウ THE BAYS を活用したイベントや新しい参加型スポーツの提案を行います。

### ② 子どもの体力向上や健全育成に関すること

- ア 横浜の未来を担う子どもたちの体力向上と、夢や感動を共有してもらうため、平成 32 年までに多くの小学校、また、幼稚園・保育所等を訪問し、野球やランニング、ダンスなどの指導を行います。
- イ DeNA グループが持つトップ選手から小中学生まで幅広い世代での指導経験や知見をもとに、小学校、中学校、高等学校の教員に対して競技指導の講習会や交流会を開催します。
- ウ 管理栄養士による保護者、教員向けの栄養指導、研修などを行い、発育発達期における食事の大切さを認識する機会を設けます。
- エ 横浜 DeNA ベイスターズと小学校等給食のコラボレーションを行い、選手を身近に感じる機会を創出します。

### ③ 福祉や行政課題解決に関すること

- ア 横浜スタジアムで、障害者施設の手作り製品を販売します。
- イ 障害者施設への選手訪問等による、共生社会の認知度向上に繋がる取り組みを検討していきます。
- ウ 選手・チーム肖像等の活用により、各行政施策への PR に協力します。

### ④ 新たな人の流れ創出・まちづくりに関すること

- ア 観戦型・参加型の両側面から、市民参加型イベントやパブリックビューイング等による施設活用を含めた、新たなまちの活性化に取り組みます。
- イ 参加型スポーツを通じた、関内・関外エリアの結びつき強化や誘客に取り組みます。

### ⑤ 市民の健康に関すること

- ア スポーツと健康づくりなどをテーマにした市民向けのイベントやシンポジウムの開催を検討していきます。

### ⑥ 東京 2020 大会における横浜での競技開催を契機とした機運醸成等に関すること

- ア 東京 2020 大会の野球・ソフトボールの主会場に横浜スタジアムが決定しました。大会開催に向けた機運醸成、開催を契機としたスポーツ振興等に協力して取り組みます。

### ⑦ 地域経済活性化に向けた施策に関すること

- ア 「L I P. 横浜※」などに参画し、DeNA グループの持つ技術や知見を活用した新ビジネス創出により経済活性化や社会課題解決等に取り組みます。
- イ その他、DeNA グループの持つ IoT、AI 等の先端技術や知見を活用した経済活性化や社会課題解決等に取り組みます。
- ※ 横浜ライフイノベーションプラットフォーム：ライフサイエンス分野での産官学金連携ネットワーク